



菊外評委第3号
平成29年12月26日

菊池市長 江頭 実 様

菊池市総合計画外部評価委員会
会 長 上 野 眞 也

第2次菊池市総合計画前期基本計画の評価について（答申）

平成29年11月24日付け、菊企第567号により本委員会に諮問のありました「第2次菊池市総合計画前期基本計画の評価（市が実施した平成28年度の施策評価）」について、審議した結果、次のとおり委員会としての意見を取り纏めましたのでここに答申します。

平成 29 年度
菊池市外部評価委員会
答 申 書

平成 29 年 12 月
菊池市外部評価委員会

1. 総評

第2次菊池市総合計画の2年目の評価としては、将来像の実現に向けた各施策の取り組みが、概ね順調に進捗していると評価できる。とりわけ、交通安全・防犯等対策の推進や防災・消防体制の整備と充実においては、市民の防災意識の醸成や防災体制の整備など一定の成果が出ていると評価できる。

引き続き、評価制度を通して抽出された課題を改善に結びつけ、より良い施策に取り組むとともに、下記の点に配慮し取り組まれることを期待する。

- 菊池基準や米食味コンクールの取り組みによって、菊池食材のブランド化が図られ、菊池米のPR等につながっている。今後は、農業者だけでなく、消費者へ菊池の安心・安全な食材をPRするとともに、消費拡大を図られたい。また、農業者の所得向上等に努めることで、仕事としての魅力を高め、後継者の確保に努められたい。
- 中学校期における学力低下の問題については、家庭学習ができていないことが問題であり、小中学校の連携等を図りながら、学力向上に努められたい。また、小学校部活動の社会体育移行については、問題点を整理し、子どもがスポーツに親しむ環境づくりに努められたい。
- 国際交流については、従来の交流のあり方を見直すとともに、現在の友好都市との交流だけでなく、新たな交流の可能性も検討されたい。
- 市街地の緑化の取組については、観光への効果等を考慮しながら、市全体の景観づくりの構想を明確に持ち、戦略的なまちなか整備を進められたい。
- 行政評価の全般的な意見として、成果指標の数値の達成だけにとらわれている印象がある。例えば、地域サロンの立ち上げ地区数について、立ち上げ数は増加傾向であるが、立ち上げ後の継続的な活動への支援等が行えているかが重要である。成果指標達成後の継続的支援等に努め、各施策の効果が持続するように取り組まれたい。

2. 各施策の評価結果

外部評価については、第2次菊池市総合計画前期基本計画（平成27年度～平成29年度）に掲げる前期3年で「目指す姿」に沿って、以下のとおり評価した。

◆10の目指す姿「1 儲かる農業と癒しの観光のまち」

【政策企画部、経済部、建設部】

■ 個別意見

○菊池基準は、消費者へ浸透しなければメリットにならないので、農業者への周知と併せて、消費者への周知にも取り組んでもらいたい。

○菊池基準をあこがれのマークにしなければならない。登録戸数を目標にするのではなく、本来の目的である、上質なブランドづくりを、生産者と消費者の両者に示してもらいたい。

○竜門ダムには、龍神様などの観光素材がいくつかあるので、そういった素材をつなげた観光企画を考えてもらいたい。

◆10の目指す姿「2 活力ある商工業が生まれるまち」

【経済部、建設部】

■ 個別意見

○新規雇用者数に占める市在住者数など、企業進出による経済効果等がどの程度あったかということは、市民も関心があると思うので、市民に示してほしい。

◆10の目指す姿「3 人を育む文教豊かなまち」

【政策企画部、教育委員会】

■ 個別意見

○教育に関して、親が子育てをできていないように思う。子どもへの教育も大切だが、親への教育も大切だと思う。

○自治公民館活動の活性化については、財政的支援も大切だが、ソフト面の支援などの取組がもう少し必要である。

○社会教育団体への支援について、団体人数の減少に応じて、補助金額を減らす傾向がある。団体人数を増やすための、行政の働きかけを期待する。

◆10の目指す姿「4 魅力ある地域を育むまち」

【政策企画部、教育委員会】

■ 個別意見

○小学校部活動の社会体育移行については、施設の使用料発生や保護者の送迎負担、指導者の確保などの様々な問題がある。子どもがスポーツに親しむ環境づくりに努めてもらいたい。

○国際交流の分野が、これまで検討中のままで進展していない。新たな交流の可能性も含めて、検討してもらいたい。

◆10の目指す姿「5 支えあう安心社会のまち」

【健康福祉部】

■ 個別意見

○保育所待機児童ゼロの取組は、子育てと仕事の両立のために、とても大切なことだと思うので、継続した子育て支援に力を注いでほしい。

○放課後児童クラブについては、できるだけ低学年の子どもを優先して受け入れる必要がある。

○精神的な悩みや子育て、生活困窮など多様な悩みを抱えていても、どの窓口相談すれば良いかわからないため、相談窓口を明確にしてほしい。

○地域によっては、行政区内で健診を呼びかける放送を流している。そういった取組も健診の受診率を上げる方法の一つになると考える。

◆10の目指す姿「6 持続可能な循環型社会のまち」

【市民環境部、経済部、農業委員会】

■ 個別意見

○学校から、猿等の出現のメールが届くが、対処方法や連絡先等を併せて知らせてほしい。

○地下水の硝酸性窒素濃度の問題は、七城地域だけでなく、その他の地域にも影響があるため、周知や啓発等に取り組んでもらいたい。

○有害鳥獣の捕獲について、スポーツハンティングなどの楽しい要素を取り入れたり、ジビエ料理のように、獲った鳥獣を売って利益を得られるような仕組みなどの工夫をすれば、猟師の確保ができると考える。

◆10の目指す姿「7 安全で安心に暮らせるまち」

【総務部、健康福祉部、建設部】

■ 個別意見

○防災士になった方が、地域コミュニティの中でリーダーの役割を担うことを期待する。

○学校から不審者が出たというメールがくるが、学校と行政が連携しながら、対処方法などの周知を行ってもらいたい。

◆10の目指す姿「8 住みやすさ日本一のまち」

【政策企画部、建設部、水道局】

■ 個別意見

○公営住宅の必要性は、一人暮らしの高齢者の増加などによって、その重要性が高まっている。

○菊池市は、市街地に温泉が隣接しており、温泉街から市街地へのまち歩き環境が整備されれば、観光面でも良い影響があるため、戦略的なまちなか整備を進めてもらいたい。

◆10の目指す姿「9 パートナーシップのまち」

【政策企画部、総務部】

■ 個別意見

○観光サイトのページビュー数が減少しているが、一方で Facebook 等の新しい媒体での情報発信ができてきていることは良いことだと思う。

○民間では、女性の視点を取り入れて、上手くいっている企業が多数ある。菊池市としても、審議会等への女性登用に積極的に取り組んでももらいたい。

◆10の目指す姿「10 行財政改革による健全なまち」

【政策企画部、総務部、市民環境部】

■ 個別意見

○コンビニ交付サービスは、土日に証明書がコンビニで取れるので、非常に便利だと思う。

○コンビニ交付サービスの機械の使用方法が分かりにくいいため、操作マニュアルをホームページ等に載せてもらいたい。また、使い方の研修等をコンビニのオーナーに開催することも一つの方法だと考える。

○市の職員数を減らすことは、財政面では効果があるかもしれないが、非正規職員など低コストの雇用形態は、将来的に地域や市民に影響を及ぼす可能性がある。また、市職員は、地域にとって重要な雇用の場であるため、よりよい人材確保が重要であると思う。単に定員管理計画に沿って減らすだけではなく、今後の地域のあり方などを視野に入れ考える必要がある。

○職員の配置については、災害時の対応等を考慮し、男女のバランスに配慮する必要がある。

3. 外部評価委員会委員名簿

※外部評価委員会は、下記の7名（学識経験者1名、各種団体等6名）で構成

役職	氏名	任期	備考
会長	上野 眞也	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	熊本大学 教授
委員	栗原 康敏	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	菊池市農業再生協議会
委員	松野 浩一	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	菊池市商工会 参与 菊池観光協会 理事
委員	古津 理恵	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	菊池市子ども会育成協議会 会長
委員	右田 美喜江	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	菊池市民生児童委員連合会 副会長
委員	山口 法子	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	菊池市PTA連絡協議会
委員	橋本 誠也	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	熊本県北広域本部 振興課長